

新品目導入に向けた視察研修会（花き）を開催

印旛農業事務所改良普及課 令和8年9月10日発

鉢花・苗物経営では需要低迷と経費高騰の対応策として、新品目の導入を検討する動きが見られています。そこで、農業事務所では、新品目導入による経営改善の考え方を学ぶことと栽培品目の選択肢の視野を広げることを目的に研修会を開催しました。

これまでに新品目を導入して経営を安定化させている経営体の視察では、経営の変遷や新品目導入の際の選定理由等について話を聞き、新品目を試作しているハウスを視察しました。また、農林総合研究センター花植木研究室では、ポットを活用した切り花栽培の試験ほ場を視察しました。参加者からは、「トライアンドエラーの大切さを再認識した」「経営においても機動力が大事」「ポット切り花の具体的な栽培方法を理解できた」等の声が聞かれました。

農業事務所では、今後も各経営体の課題や状況に合わせて、経営改善につなげられるような情報提供や視察等の機会を作っていきます。



先進経営体の視察



花植木研究室の視察